

令和2年度鶴見区運営方針（素案）にかかる意見

資料2

NO	委員名	ページ	ご意見	対応方針
1	三野委員	全体	<p>昨年問題があった点、今年度改善された点が不明です。新たに取り組むものはどれか？それにより今までと比べ何がどうよくなるのか説明がありません。</p> <p>例えば、会議でいただいた黄ファイルの資料ですと健康づくりP5。表もあります、前年実績・今年度取り組みも載っていますが何を改善したのでしょうか。これから考えるのでしょうか。</p> <p>健康まつり・食育フェスタは再構築とありますが何を再構築して、今年度どのような内容で実施する運びになったのでしょうか。</p>	<p>ファイルでお渡しした運営方針は、10～20年先を念頭に「めざす状態」を設定し、現状との差、その要因を分析したうえで、戦略ならびに3年程度先の成果指標を設定しており、そのための当年度の取組みを掲載したものである。</p> <p>委員ご指摘の事業の見直しについては、年度終了後に成果指標の達成度を測定し、改善が必要なものについて改善を行っているため、例年、第1回目の全体会及び部会で報告させていただき、ご意見をいただいている。</p> <p>例に挙げておられる健康づくりについては、平成30年度の振り返り結果では、設定した指標をクリアしており、基本的にはこれまでの戦略・取組みを継続することとしている。</p>
2	三野委員	全体	<p>広報の手段・方法の改善は？</p> <p>広報紙に載せました、ホームページにUPします。だけでは今までと何も変わらないと思います。</p> <p>町会役員ですら知らない行事があったりしますので一般の方は尚更、知らないと思います。</p> <p>参加人数の少ない重点課題も多々あるようですので新しい発信手段の確立、今までと同じ手段は内容の見直し等を積極的に取り組んでいただきたいのですがどのようにお考えでしょうか。</p>	<p>参加人数が目標に達しない事業については、要因を分析し、関心をもってもらえるような掲載内容に見直す等、個別対応をおこなっている。</p> <p>対象に応じて広報媒体や、内容を工夫する必要があると考えているため、区政会議委員の皆様から有効な手法をご提案いただきながら、改善に努めてまいります。</p>

NO	委員名	ページ	ご意見	対応方針
3	山口委員	2	<p>「実現」という言葉がずっと書かれていると、ちっとも良くなっていないような気がする。</p> <p>「維持と発展」など、現状にも肯定できることもある事を表してほしい。</p>	<p>運営方針は、平成30年4月に策定した「鶴見区将来ヴィジョン」の単年度のアクションプランにあたる。</p> <p>そのため、ヴィジョンの表現を引用しており、実現という表現とさせていただいている。</p>
4	山口委員	4	<p>まなびを応援するまちづくりのくくりの中にも、p.18にある「地域社会の活性化」についての言及があってもよいと思います。</p>	<p>概要版の当該ページでは明文化した形で言及していないが、ファイルでお渡しした令和2年度運営方針（素案）の経営課題3では、めざすべき将来像の1項目目に明記している。</p>
5	宮本委員	5・6	<p>つなげ隊の役割は大変重要であるが、地域全体からみると点の活動で、従来からある地域ネットワーク委員会は地域全体をキメ細かくカバーする面の組織であり、連携したシステムの構築により委員会の活性化もはかれ、相談件数が増えるのではないかとと思う。</p> <p>これから団塊の世代が後期高齢化を迎え認知症の増加、知的・精神障がい者、近年注目されてきた発達障がい者も含め、より一層地域での対応が求められる。個人情報保護という壁はあるが、今以上に各障がい者情報の提供・共有化の拡大と、地域住民への啓発及び両者に理解を得られる施策の推進が必要ではないかと考える。</p>	<p>「つなげ隊」の活動には、「地域ネットワーク委員会」や地域での福祉活動や会議に参加し、情報収集や活動の支援を行うことが含まれており、各地域でそれぞれの地域の実情に応じ活動しているところであり、今後とも、「つなげ隊」が地域の相談窓口として機能するよう継続して鶴見区社会福祉協議会と連携して取り組んでいく。</p> <p>高齢者の見守りにあたり、高齢者本人から同意があったときには、その方の同意の範囲で、障がいの有無などの情報も一部共有して見守り支援を行っている。また一定以上の障がいを持つ方についても高齢者と同様に本人の同意があった場合には一定の情報を地域に提供・共有している。</p> <p>引き続き取組の推進や見守り活動についての地域住民への周知に取り組んでいく。</p> <p>また、認知症に関する啓発については、地域住民を対象に「認知症サポーター養成講座」を開催し、より多くの方が認知症に対する理解を高めていただくよう引き続き取り組んでいく。</p>

NO	委員名	ページ	ご意見	対応方針
6	内野委員	5	<p>地域共生社会の実現に向けた施策でコミュニティソーシャルワーカー（CSW）やつなげ隊の実践力の向上、体制の強化はぜひ進めて頂きたいと思います。</p> <p>一方、地域での幅広い活動は地域活動協議会（NPO）の方々が中核ですので、双方の情報収集、活動の連携の場を、ステークホルダに任すのではなく行政で作って頂ければ実践力がアップすると思います。</p>	<p>「つなげ隊」は、地域における区民の相談窓口として、また区域における福祉に関する情報を集約し、福祉課題の把握と地域への福祉に関する情報伝達のネットワーク機能も含めた組織として、鶴見区社会福祉協議会に委託して各地域に配置しており、相談対応のほか、要請があれば「支援を必要とする方の支援方針を専門機関などが集まって協議する会議」にも参加し、支援に協力している。</p> <p>「つなげ隊」の選任に当たっては、地域活動協議会の意見を聞き、これを踏まえて地域住民の方から選任しており、「各地域のつなげ隊相互で共有した情報」を地域社会福祉協議会の会議などで伝達し、地域活動に活かしていただくなどの取組も行っている。</p> <p>今後とも、「つなげ隊」が行政と地域の情報共有や活動の連携に役立つよう鶴見区社会福祉協議会とも連携し実践力の向上と体制強化に努める。</p>
7	山口委員	7	<p>次の一文が長すぎる。「○地域のさまざまな取組みと連携し、区民の健康保持・増進を促すとともに、関係団体と協議し、運動習慣づくりや～～～イベントを開催する。」</p>	<p>次のとおり趣旨について簡潔な表記に改める。</p> <p>「地域、関係団体と協働し、運動習慣づくりや食生活の改善など、区民の自主的な健康づくりを進めるため、幅広い年齢層が参加できるイベントを開催する。」</p>

NO	委員名	ページ	ご意見	対応方針
8	内野委員	9	<p>児童虐待防止対策は、虐待の根っこが多様で複雑な要因を抱えておりますが、是非取組を推進して頂きますようお願い致します。</p> <p>欧米での効果の高い取組として、ステップファミリーに対する研修やサポートが高い効果を上げていることを聞いております。</p> <p>1月23日に本テーマで区民ホールにて講演会がありますが、ビデオどり等で活用できないでしょうか。</p>	<p>1月23日、「子育て講演会～ステップファミリーにおける親子関係の理解～」を開催した。ビデオで録画した講演内容を子育て支援機関等の研修に活用する予定。</p> <p>また、同講演会資料を1月25日に開催された「人権啓発推進セミナー 映画上映会」で配布したところ、興味を示す保護者が複数いたとのことであった。児童虐待を防止するには、当事者だけでなく周りの理解も重要であることから、大きなイベントや講演会などの機会をとらえ、すべての人に対する啓発活動に努めたい。</p>
9	山口委員	12	<p>花博30周年記念 区民の寄附について、結果的に、連合や地域町内会から（寄附という名の）分担金を徴収するような事にならないようにお願いします。</p>	<p>区民の皆様に緑化について関心を持ってもらい、参加・協力いただける機会を増やすために、寄附という手法を取り入れており、任意での寄附と考えている。</p>
10	森田委員	13	<p>校長経営戦略支援予算を使って教育活動サポート事業で外部講師をよんで指導を委ねるのはとてもよい制度だと思います。</p> <p>とくに中学校ではクラブ活動において、顧問として指導を出来ない先生がいたりするとクラブ活動が機能しなかったり困りますが、外部講師を呼ぶ事でクラブ活動が活発になり、専門的な指導をする学校と知名度も上がれば区内での中学校選択時に選択肢の1つとなりうると思います。</p>	<p>引き続き、保護者・区民等の教育に関する意向やニーズの把握に努めるとともに、区内の学校長等との連絡調整・意見交換等を踏まえ、学校運営の支援に資する事業を企画・展開し、分権型教育行政を推進してまいりたいと考えている。</p>

NO	委員名	ページ	ご意見	対応方針
11	田中委員	15	<p>「防災資機材の充実」について、校庭に給水車が入った場合、こぼれた水によるぬかるみを防ぐために溝を掘る必要が出てくるため、資機材に「鍬・スコップ・つるはし」を加えるべきだと思います。</p>	<p>救助資機材として、バール・シャベル・かけや等、代用できるものを配備している。</p>
12	倉谷委員	16	<p>ひったくり防止キャンペーンで自転車につけるひったくり防止カバーの配布もいい事ですが、かごに荷物を置いたままにしないという事をアピールした方が、ひったくりや置き引きの被害がなくなるのではないかと。</p>	<p>置き引きの被害（車上ねらい）については、ひったくり防止カバー取付時に、自転車に荷物を置いたまま買い物などに行かないよう声掛けを行っている。</p> <p>また、商業施設の駐輪場に注意喚起ポスターを掲示したり、区役所ホームページに掲載して、注意喚起を行っている。</p>
13	山口委員	18	<p>「生まれ育った環境に左右されることなく」は、誰かの生まれ育った環境を否定してしまいかねないので、不要だと思います。</p>	<p>「生まれ育った」については、削除する。</p>